

2018年2月3日、発達障害研究所「県民講座」を開催しました。
「重症心身障害の今と未来」

発達障害研究所「県民講座」を、2月3日（土）の午後1時30分から4時30分まで、電気文化会館イベントホールにて、「重症心身障害の今と未来」というテーマで開催し、51名の参加者がありました。

本年度は、愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所の中山敦雄所長および長谷川桜子主任研究員による「愛知県における重症心身障害のある人と家族の概要」、同中央病院の中西圭子医長による「重症心身障害の治療と予防への試み」、同こぼと学園の麻生幸三郎園長による「重症心身障害児者施設とノーマリゼーション」と題した講演が行われました。講演後の総合討論・質疑応答では、参加者から多数の質問が出され、活発な討論が行われました。



今年度も盛会のうちに終了しました。ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

(写真左から、麻生幸三郎先生、中西圭子先生、長谷川桜子先生、中山敦雄先生)

